

# 商業部会長報告

1. 会議名 **第3回商業部会（オープン部会）**
2. 日時 **2025年2月27日（木）15：00～16：30**
3. 場所 **秋田商工会議所 7階 ホール80（ハイブリッド開催）**
4. 出席者 **部会員等16名**
5. 懇談 **地域経済循環を高めるBUY長井プロジェクト**  
**長井商工会議所 商業部会 部会長 齋藤 裕之 氏**  
**BUY長井プロジェクト実行委員長 横山 敬生 氏**
6. 協議 **2025年度部会活動計画（案）について**

# (1) BUY長井プロジェクト～子ども達にまちを残すために～

## ① 背景

ネット販売や通販、市外の大型商業施設などの利用拡大により、地元商店街等は来店客の減少から売上減となり、事業承継がされなくなる可能性とまちの機能衰退にも繋がりがかねないとの危機感から2021年7月にプロジェクトを立ち上げた。

## ② 目的

**市外等に流出している購買力をしっかりと地元に残め、地域内の経済循環を高めることで、本市のまちの機能を存続し、将来を担う子ども達にとって魅力あるまちが残せるように、私たち事業者自らが地域で消費するものはできるだけ長井で購入しようとする意識を地域の方々にしっかりと根付かせる。**

### 【ロゴと趣旨文】



**BUY長井プロジェクト**  
～子ども達にまちを残すために～

「普段何気なくあなたが使うそのお金は、しっかりと地元を回していますか？」

現在、長井では、地元のお店を利用する人が減少しています。近年では、ネット販売や通販、市外の大型商業施設などの利用もますます増加しています。このままでは、地元のお金は、客単価の減少、売上の減少によって事業承継がなされずにシャッターを下ろすことになり、まちの機能がどんどん衰退してしまいます。ちよとした買い物ですら、長井でできなくなる日が来るのも近い将来の懸念ではありません。

使ったお金がしっかりと地元を回すために、私たちができること。

晩酌を、ときどき地酒に変えてみる。  
陳列棚に同じ種類の商品があったら、長井で作られた方を買ってみる。  
急いでいない日用品だったら、地元で調達する。  
地域の風土に精通した地元業者に依頼する。

私たちが年間に消費するお金のうち少しでも多く地元に残めるように心掛けることで、地元の大切なお店が潤い、新しい雇用が生まれ、その人がまた地元で消費する。この仕組みが作られることで、長井の経済基盤が強化され、子ども達に、住みよく安心して暮らせるまちを残すことにつながります。

長井商工会議所商業部会では、「BUY長井プロジェクト」を立ち上げ、地域経済循環を高める活動を推進していきます。  
まずは、私たち商工会議所会員を中心とした地元企業が積極的に地元購入を勧め、様々な取り組みを通じて発信し、やがて市民運動へと発展するよう取り組んで参りましょう。



# (2) BUY長井プロジェクトの取り組み

## 2021年度 (7月~)



三役 (会頭・副会頭) との合意形成



推進グッズ製作・会報誌への掲載開始



## 2022年度



コラボ商品 (逸品詰合せギフトBOX、父の日ギフト等)



## 2023年度



コラボ企画 (地元食材で作ったBUY長井バーガー)

## 2024年度



コラボ企画 (商店街の街路灯や産直内にフラッグ掲出)

### (3) 今後の課題

- ① 市民運動として広げるには、**他の産業や公共団体からの理解と協力が必要**。
- ② 事業のマンネリ防止として**新たな取り組みが必要**だが、資金不足で広げられない。
- ③ デジタル地域通貨「ながいコイン」との連携強化。  
※ 以上を踏まえ、今後も着実にプロジェクトを推進していく。

### (4) 意見交換

#### ○佐野副会頭

市民への働きかけが活動の中心になっていると感じたが、**企業間での地元利用を促そうとする動きはどのようになっているのか。**

#### ●横山実行委員長

商業よりも建設業の方が裾野が広く地域への波及効果も高いことから、**当部会発のプロジェクトだが、建設部会をはじめ他部会にも広く参画を呼び掛けている。**